



若き心 集まるところ



令和元年9月号 校長 伊藤 盛人

バック トウ ザ 台中

いよいよ、学校が始まりました。

ゴールデンエイジの みなさんに期待する

みなさんは「ゴールデンエイジ」という言葉を知っていますか？ゴールデンエイジとは、9～11歳までの若い世代のことを指します。また、12～14歳までの世代を「ポストゴールデンエイジ」と呼ぶそうです。ゴールデンエイジとは、まさしく中学生の世代、つまり君たちの世代を指すのです。

では、なぜゴールデンエイジと呼ぶのか？運動生理学でいうと人間の「運動神経」がこの時期に最も発達する時期だからです。具体的に言うと学んだことがすぐに身に付き、すぐに活用できる時期だそうです。これはスポーツばかりではなく、楽器の演奏、絵画の製作などにも当てはまり、浮かんだ自分のイメージを最も早く実現することができる時期だそうです。また、12～14歳のポストゴールデンエイジは、学んだことを頭の中で整理して考えながら実行する時期と言われています。

話は変わりますが、この夏休みは、来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックの話題で満載でした。

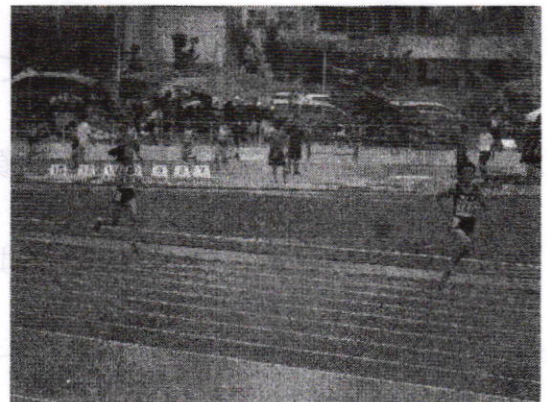
今から27年前の夏、スペインバルセロナオリンピックで当時中学2年生の岩崎恭子さんが平泳ぎ200mで見事、金メダルを獲得しました。

本番までの自己ベストタイムがオリンピック選手の中では平凡で、彼女は優勝候補から遠く離れた存在でした。ところが、午前中に行われた予選会で突然、予選2位のタイムを出し、周囲の関係者の度肝を抜きました。彼女は俄然、脚光を浴び、ついに午後の決勝では、堂々金メダルを獲得しました。その時の彼女のインタビューで答えた「今まで生きてきた中で一番幸せです」は、オリンピック選手が語った名言として、今も残されています。また、47歳になった彼女自身が当時を振り返ると「いわゆる自分のゾーンにはまった」と、表現し、現在は子育てに幸せを感じていると言っています。

次回の東京オリンピック・パラリンピックでも岩崎さんのようなゴールデンエイジの活躍が期待されるところです。

みなさん、長かった夏休みは終了しました。今日から始まる学校生活には盛りだくさんの活動が待っています。みなさんには是非、みなさん自身が最も伸びる「ゴールデンエイジ」であることを自覚し、学校生活の中でみなさんの力を伸ばしてほしいのです。

学校全体で「ゴールデンエイジ」であるみなさんを応援したいと思います。



(地区陸で快走する橘田選手)

今一度、

いのちの大切さを考えよう

夏の長期休業期間を終え、皆さんの元気な姿を見て、本日、安心したところですが、この時期になかなか本来の生活リズムが戻せず四苦八苦し、悩みを抱える生徒もいます。少しでもヒントになればと思い、裏面に緊急のメッセージを載せました。是非、一読ください。

鶴が台中学校の生徒の皆さんへ

鶴が台中学校でも、夏休みがようやく終わり、日常の学校生活が始まりました。本日の全校集会で皆さんの元気な姿を見てほっとしたところです。これから、9月7日（土）コミュニティーセミナー、10月31日（木）合唱コンクールなどの学校行事がたくさんあります。楽しみにしている人もたくさんいるでしょう。

一方では、勉強のこと、進路のこと、部活動のこと、友だちのこと、家族のことなど、いろいろと思い悩むこともあるでしょう。そのような時には、一人で悩みを抱え込まずに、担任、部活動顧問、養護教諭などの先生や、スクールカウンセラー、家族など、周囲の人に相談してください。「SNSいじめ相談@かながわ」や「24時間子どもSOSダイヤル」などで相談することもできます。

また、友だちから相談を受けて、自分一人では支えきれないと感じる場合もあると思います。その時は、信頼できる大人に相談してください。

先生方をはじめ、周りの大人は、あなたたちの支えになりたいと心から思っています。辛い時、困った時、一人で苦しまずに、ぜひ声をかけてください。

茅ヶ崎市立鶴が台中学校

学校長 伊藤 盛人